

令和３年度企業版ふるさと納税に係る事業報告について

令和４年１１月１８日

うきは市長 高木典雄（企画財政課）

令和３年度に企業版ふるさと納税により寄附を受領した、まち・ひと・しごと創生寄附活用事業について、下記のとおり報告します。

記

１．

（１）事業の名称

「新たな日常」における地域間連携による「民需」「人の流れ」創出プロジェクト 【デジタル人材の育成】
--

（２）確定した事業費及び当該事業に対する寄附の受領額

確定した事業費	7,595,000 円
当該事業に対する寄附の受領額	3,000,000 円

（３）事業内容

計画名	「新たな日常」における地域間連携による「民需」「人の流れ」創出プロジェクト
分類	【デジタル人材の育成】
事業の目的	タブレット端末による学習で、子どもたちの学力や感性、生きる力を磨き、次代を担う人材の育成を図ります。
令和３年度事業	759 万円
事業の成果	いち早くタブレット端末の導入を進めてきたうきは市は、全ての小中学生 2,300 人と教職員 200 人分の iPad 約 2,500 台を令和３年度中に確保することができました。 このタブレットを活かして、国語、算数、理科、社会、体育など授業の中で、先生と子ども若しくは子ども同士が学びを深めあい、学校生活を通じてデジタルに慣れ親しむ機会を創出しています。 先生たちも、操作方法を互いに研修しあうほか、うきは市が配置したＩＣＴ支援員２名から操作方法の手ほどきを受け、より良

	い授業を追求しています。 こうしたことから市内9つの小中学校すべてがICT優良校に認定され、市外からうきは市へ視察が相次いでいる状況です。 うきは市では今後も引き続きICT教育を進め、デジタル人材を育成していきます。
--	---

2.

(1) 事業の名称

「新たな日常」における地域間連携による「民需」「人の流れ」創出プロジェクト 【人材育成事業】

(2) 確定した事業費及び当該事業に対する寄附の受領額

確定した事業費	30,166,000 円
当該事業に対する寄附の受領額	3,100,000 円

(3) 事業内容

計画名	「新たな日常」における地域間連携による「民需」「人の流れ」創出プロジェクト
分類	【人材育成事業】
事業の目的	うきは市が持続可能なまちの形成に向けて人口を確保していくには、子どもを安心して育てられる環境を整備することが重要です。そこで、子育て世代への支援を充実強化した子育て事業に取り組み、出産や不妊にかかる育児支援や豊かな心を育むリトミック事業などを実施して、次代を担う人材を育成します。
令和3年度事業	3,016 万円
事業の成果	○出産や不妊にかかる育児支援 産婦人科の医療機関で、市の事業として妊婦の定期的な健康診査や、生後4カ月未満の子と母親に対する育児相談や育児ケアを実施しました。子育て世代から、安心して子育てできる取組として評価をいただきました。 ○リトミック教育の実施 幼児に対して、音楽に反応し集中力を高めて考え、体を使って表現するリトミック教育を行いました。市内の保育所9園で実施し、感受性や創造性を養い子どもたちの発達を促しました。保育士や保護者からは「子どもたちの聴く力がついた」

	「集中力が増した」といった意見をいただきました。 ○ICT（情報通信技術）教育の実施 いち早く ICT 教育を進めてきたうきは市では、全ての小中学生 2,300 人分と教職員 200 人分の iPad 約 2,500 台を令和 3 年度に整備することができました。 このタブレットを使って国語、算数、理科、社会、体育など授業のなかで、先生と児童生徒または児童生徒同士が学びを深めあうなど ICT に慣れ親しむ機会を創出しています。こうしたことから市内 9 つの小中学校全てが I C T 優良校に認定されたほか、市外からうきは市の教育現場へ視察が相次ぎました。
--	--

3.

(1) 事業の名称

「新たな日常」における地域間連携による「民需」「人の流れ」創出プロジェクト 【子どもの安全プロジェクト】
--

(2) 確定した事業費及び当該事業に対する寄附の受領額

確定した事業費	7,523,000 円
当該事業に対する寄附の受領額	100,000 円

(3) 事業成果

計画名	「新たな日常」における地域間連携による「民需」「人の流れ」創出プロジェクト
分類	【子どもの安全プロジェクト】
事業の目的	うきは市が持続可能なまちの形成に向けて人口を確保していくには、子どもを安心して育てられる環境を整備することが重要です。特に家庭や学校等で心理的・情緒的理由等により不登校となっている児童生徒に居場所を提供し、学校へ復帰することを目指して支援を行います。
令和 3 年度事業	752 万円
事業の成果	○うきは市適応指導教室「キー・ノート」 専門家を雇用し、不登校となっている児童生徒への家庭訪問や電話相談を実施し、学校への復帰を支援し、数名の児童生徒が学校への復帰を果たしました。

4.

(1) 事業の名称

うきはの屋形古墳群整備&賑わい創出プロジェクト

(2) 確定した事業費及び当該事業に対する寄附の受領額

確定した事業費	13,047,000 円
当該事業に対する寄附の受領額	1,800,000 円

(3) 事業成果

計画名	うきはの屋形古墳群整備&賑わい創出プロジェクト
事業の目的	うきは市は1年中フルーツが採れる「フルーツ王国」として人気が高く、年間240万人（令和元年）が訪れる北部九州屈指の観光スポットです。 なかでも6世紀に造られた屋形古墳群は歴史的価値が高く、観光資源として高いポテンシャルを持っているにも関わらず知名度が低く、その魅力を十分発揮できないまま現在に至っています。 受入体制も十分でなく施設も質素であることから、施設を再整備し、文化財である古墳の保存と活用を進めるとともに、フルーツ地帯に位置する古墳という個性的な魅力をPRして地域を活性化します。
令和3年度事業	1,304 万円
事業の成果	屋形古墳群を広くPRするため、パンフレットを作成し、プロモーション活動を行いました。 また、案内看板を22基を設置し、古墳群を歩きやすい環境を整備しました。 屋形古墳群のガイダンス施設を整備し、見学者を広く受け入れることが可能となりました。

5.

(1) 事業の名称

うきは市まち・ひと・しごと創生推進計画【ラグビータウンプロジェクト】

(2) 確定した事業費及び当該事業に対する寄附の受領額

確定した事業費	10,600,000 円
当該事業に対する寄附の受領額	10,600,000 円

(3) 事業内容

計画名	うきは市まち・ひと・しごと創生推進計画
分類	【ラグビータウンプロジェクト】
事業の目的	ラグビーを通じた「感動」「笑」「夢」溢れるまちづくりへ取り組みます。 ルリーロ福岡の活動を格とするシビックプライドの醸成を図ります。 地域の企業・事業者との連携による地域活性化に向けた取り組みを行います。
令和3年度事業	1,060万円
事業の成果	令和4年4月にルリーロ福岡が発足し、9月から九州トップリーグに参戦し、リーグ戦を終え、1位につけています。 地域活性化及び地方創生に係る連携協定を、ルリーロ福岡・うきは市・うきは市商工会・浮羽究真館高校の4者と締結しました。 ルリーロ福岡の所属選手36名のうち25名がうきは市内を中心に就職し、13名がうきは市内に移住するなど、様々な形で地域活性化に貢献しています。

6.

(1) 事業の名称

「新たな日常」における地域間連携による「民需」「人の流れ」創出プロジェクト 【観光振興プロジェクト】

(2) 確定した事業費及び当該事業に対する寄附の受領額

確定した事業費	44,240,000円
当該事業に対する寄附の受領額	3,200,000円

(3) 事業内容

計画名	「新たな日常」における地域間連携による「民需」「人の流れ」創出プロジェクト
分類	【観光振興プロジェクト】

事業の目的	受け入れ体制を強化して、地域自らが観光客を集める観光まちづくりを行います。 うきは市の名前を広く浸透させ、うきはの地を観光地としてブランド化します。
令和3年度事業	4,424万円
事業の成果	うきは市の魅力を発信するため、観光ガイド本「外戸本（がいどぼん）epi 四季それぞれに味わうフルーツ王国うきは」の作成・出版を行いました。 観光情報発信施設「ウキハコ」でスイーツマーケットを実施し、うきは市出身のシェフが作成したサブレ等を販売し、うきは市のスイーツをPRしました。 九州朝日放送系列のソーシャルメディア「たびつく」を活用し、Webサイトにうきは市の特集や観光ルート・スポットを掲載し、TVではミニ番組の制作・放送しました。 オンラインでのトークイベントや体験ツアーを開催しました。